

学科名	電気通信工学科					
科目名	電気工学基礎実験 I (取りまとめ)					
科目区分	専門科目		単位数	2単位	開講時期	2年前期
必修・選択の別	必修(組込みシステムコース)/必修(電気エネルギーコース)/必修(情報システムコース)					
担当者	原谷 直実、江崎 秀、牟田 浩司、堀内 幸造					
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直流計器の取り扱いと計器を用いた直流電気磁気測定法を習得する。(A2,A6,A7,B1,B2) ・ トランジスタやFET(能動素子)によるスイッチング回路の動作を理解する。(A7,B3) ・ 回路図に従って、回路の結線ができるようになる。(B1) ・ 測定データの整理とグラフ化ができるようになる。(B2,C5) ・ 実験結果をレポートとしてまとめることができるようになる。(A4,B2,C1,C5) 					
日程と内容	<p>第 1回： ガイダンス：授業の進め方と概要、実験実施日程、成績評価法 等、授業に関する説明 実験テーマ：(1) 直流抵抗回路の測定、(2) トランジスタ・FETのスイッチング回路、(3) 静磁界の発生と測定、(4) オシロスコープ、を第2回から第9回まで実験実施日程表に基づいて行う。これらの実験が終了した者のみ、応用実験に着手することができる。</p> <p>第 2回： 実験第1回</p> <p>第 3回： レポート第1回</p> <p>第 4回： 実験第2回</p> <p>第 5回： レポート第2回</p> <p>第 6回： 実験第3回</p> <p>第 7回： レポート第3回</p> <p>第 8回： 実験第4回</p> <p>第 9回： レポート第4回</p> <p>第10回： 応用実験①（回路を読む）</p> <p>第11回： 応用実験①（回路を読む）</p> <p>第12回： 応用実験②（回路を組む）</p> <p>第13回： 応用実験②（回路を組む）</p> <p>第14回： 実験予備日、授業実施実績確認、授業評価</p> <p>第15回： 実験予備日、授業実施実績確認</p>					
成績評価基準	定期試験		実技		60%	
	臨時試験		部外評価			
	報告書・レポート	40%	プレゼンテーション			
	課題					
	演習		計		100%	
授業到達目標の達成度	不合格の1名は、進路変更を考えており、合格の努力をしなかったのは本人の意思と思われる。その他は、全員授業到達目標を達成した。					
反省点	昨年度の反省・次年度計画を反映して、授業計画・テキストを準備した。再履修生も全員合格したが、再履修の方針について再検討したい。					
来年度の計画	平成28年度入学生からカリキュラムの変更を予定しており、その時点で大幅な内容変更を行うことになると思うが、それまでもテーマの移動(学年や前後期)、新テーマの導入など必要に応じて対応ていきたい。					
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価8.6(2012年度)→8.4(2013年度)→8.3(2014年度)→8.2(2015年度)。1年次に比べ、レポート作成がつらくなる科目であるが、それには総合評価はまずまずである。単位修得意思のある学生は、全員合格した。自学自習時間が少ないという結果が出ているが、レポートの期限は比較的よく守っていたように思える。					
履修登録者数	65 名	定期試験受験者数	64 名	合格者数	63 名	合格率 98%